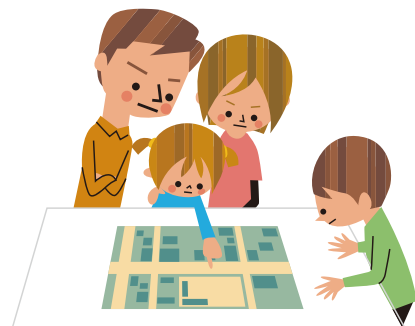


いつ起こるかわからない自然災害。命の対策は万全ですか？

災害

について 考えよう！！

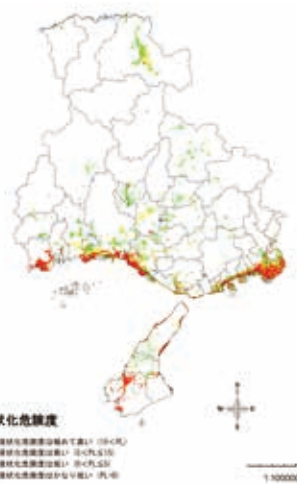


今年の4月に発生した九州の熊本・大分地震。九州では、過去に例を見ない程の災害に見舞われました。

この地震で、家屋や道路などは倒壊し、多くの方が被災されました。今も災害時のままの状態になっているところもあるようです。

私たちの町では、阪神淡路大震災があったにも関わらず、まだまだ地震に対しての認識が低いようです。地震、津波、台風、土砂災害…。「災害大国」ともいわれる日本列島では、いつどこで災害に遭遇してもおかしくありません。

災害への備えは、地域ごとの地理的特徴と社会特性を知り、災害の種類ごとにどんな影響がおきるのかを正確に把握するところからスタートします。ここでは、兵庫県における地震、津波災害、風水害、土砂災害の特徴を整理し、それぞれの災害についての対策のポイントを紹介します。



津波からの避難は一刻を争います。ふだんから高台や津波避難ビルなど、津波から逃れるための場所を確認し、いざというときにすばやく逃げる事ができるよう、避難訓練にも参加しておきましょう。

特に兵庫県の場合は津波対策が重要です。南海トラフ地震が発生した場合、大規模な津波が襲来する可能性がとても高くなります。

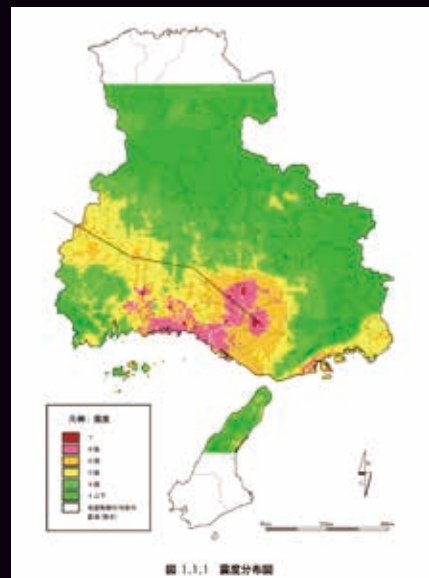


図 1.1.1 震度分布図

兵庫県は、海沿いなので、津波への備えをしておくことは大切です。阪神淡路大震災を経て、耐震や防災については見直されていますが、あれより大きな地震はもう来ないと油断してはいけません。

しっかりと防災の知識や道具を備えておき、いざというときに慌てないようにしておきましょう。

！ 風水害への備え

風水害の場合は、気象庁からあらかじめ予報が出されるため、できるだけ早く正確な情報をつかんで、災害が発生する前に避難できるようにすることがもつとも重要なポイントとなります。

ふだんから気象関係のアプリやホームページにアクセスして、どんな情報がどこにあるか、どのくらいの状態になったら避難などの対応が必要かなど、気象情報を正しく読み取れるようになっておきましょう。

